



山の景	里の景	田園の景	街の景
バラの原種(野生のバラ)を栽培し、バラの歴史の始まりを表現	現代バラの基となったオールドローズなどを栽培し、バラの歴史の流れを表現	四季咲き大輪種(H.T)を主体としたモダンローズの代表種を植栽	1970年代以降に生まれたイングリッシュローズなどを植栽

13 ロサルキアエ・ウィクラアナ(原種)
葉に光沢があることから和名をテリハノイバラといい、枝は長く、ほふくしながら伸びます。この特徴が現代のつるバラ誕生に多大な影響を与えました。花は6月上旬、ほかのバラに比べて非常に遅い時期に咲きます。非常に素朴な花ですが、これを見ればあなたはかなりのバラ通か!?

14 スピリット・オブ・バンクーバー(シュラブ系)
現在靉靉園にある最も新しいバラ。世界バラ会議バンクーバー大会のシンボルローズとして、2009年に発表されましたが、実は当園に届けられたのは2006年でした。大阪大会の次の開催地であるバンクーバーから大阪市へいただいた苗だということで、当時は貴重な未知のバラを前に緊張したものです。

15 レディ・ヒルドン(ティ系)
アブリコトイエローの花です。靉靉園では木立ち性とする性の両方があり、つる性のものは里の景のアーチに咲きます。いずれの花も甘い紅茶の香りが、楽しめます。

16 アンドレ・ル・ノートル(ハイブリッド・ティ系)
柔らかな杏色の大輪を咲かせる、アンティーク調の品種。中之島の靉靉園から移植されたバラですが、今はしっかりと靉靉園に根を張っています。ちなみにアンドレ・ル・ノートルは、ヴェルサイユ宮殿を手掛けた庭師の名前です。

9 アルフレッド・ドゥ・ダルマス(モス系統)
薄いピンク色から咲き進むにつれて白くなる花を咲かせます。つぼみの周りに生える緑色の毛(纖毛)から松ヤニの様なスーっとした香りがする、珍しいバラです。

10 スヴニール・ドゥ・ラ・マルメゾン(ブルボン系)
シャポー・ドゥ・ナポレオン(ケンティフォリア系)
ナポレオンの皇妃であったジョセフィーヌは、マルメゾン宮殿でバラの育成に力をそそぎました。またシャポー・ドゥ・ナポレオンは、つぼみの萼(がく)がナポレオンの帽子に似ていることから名づけられたバラ。この場所ではジョセフィーヌとナポレオンが時と空間を超えて再会しています。

11 スヴニール・ドゥ・アンネフランク(フロリバンダ系)
天気の良い日は燃えるような美しいオレンジ色の花を咲かせます。「アンネの日記」の作者に捧げられたバラ。戦争や差別によって若くして亡くなったアンネのバラを眺めていると、「同じ過ちを繰り返してはいけない」と語りかけてくる気がします。

12 ロサ・ムルティフローラ(原種)
沖縄地方を除く日本各地に自生する野バラで、和名をノイバラといいます。白い小花をたくさん咲かせる性質が、フロリバンダ系のような現代の房咲きバラに受け継がれています。古くは万葉集にも「うまら(紫)」として登場し、赤い実は漢方にも処方されてきました。現在はバラの接ぎ木の台木としても利用されています。

“春のローズツアー” 誌上体験:靉靉園バラ園編



バラの香りに包まれながら散策し、歴史を辿り、魅力を再発見する素敵なひととき

これから本格的な見頃を迎えるバラ。鮮やかな色彩で咲き競う好シーズンに、市内5カ所の靉靉園(靉靉園・中之島公園・花博記念公園鶴見緑地・長居植物園・天王寺公園)では“春のローズツアー”を開催します。本誌「スポ・みど」では、同ツアーの魅力を一足早くお届けするべく誌上体験ツアーを企画しました。古今東西を代表するバラエティ豊かなバラの数々をお楽しみ下さい。

- ローズツアー情報**
- 内容:様々なバラの紹介やバラにまつわる話を交えて靉靉園を巡ります。
 - 参加費:無料 ●開催期間:随時ホームページにて発表します。
 - 申込方法:申込み不要。開催日時に現地にお集まりください。
 - ツアーの流れ(靉靉園の場合):バラに関する基本情報の講習会(約15分)→靉靉園を散策するツアー(約30分)→質問タイム

ツアーガイドさんに聞く「バラ園の知られざるヒミツ」

靉靉園では私たち大阪市の職員がツアーガイドを務めています。普段から園の維持管理を行っていますので、いろんな話を織り交ぜて案内できると思います。たとえば花を観るだけでなく、触ったり匂いをかいだり、バラの魅力を体感できる仕掛けも考えています。また、できるだけ皆さんに見やすい高さで咲くように剪定したり、アーチやスクリーン一面に咲くように枝を誘引したりするなど、さまざまな工夫をしています。舞台裏の苦労も少なくはありませんが、バラの観賞を心から楽しんでくださる方を見ると、私たちも元氣百倍です。大阪市の職員として、市民の皆様にご覧いただけることが何よりうれしいです。靉靉園には春だけ咲く一季咲きのバラが多くあります。靉靉園全体が華やぐこの季節、ぜひお見逃しなく!

- おまけ情報**
- ①四季咲きのバラは秋(10月後半〜)にも美しく咲きます。
 - ②秋のバラは春より花の数は減りますが、色が深くなります。昼夜の気温差が大きいため、花にたくさん色素をためるからだと言われています。ぜひほかの季節にも靉靉園をのぞいてみてくださいね!

大阪市ゆとりとみどり振興局
西部方面公園事務所 **武市 菜穂子**さん

5 ピース(ハイブリッド・ティ系)
クリーム色にピンクの覆輪の、巨大な花を咲かせます。第二次世界大戦が終結した1945年に、永遠の世界平和を願ってピース(平和)と名付けられました。国際連合発足会議やサンフランシスコ対日講和条約調印の席上を飾るなど、バラそのものが平和の象徴であると印象付けた品種のひとつです。

6 ラ・フランス(ハイブリッド・ティ系)
表と裏で色が異なるピンク色の薄い花びらが、幾重にも重なります。ハイブリッド・ティ系の第1号とされる品種で、以降のバラを「モダン・ローズ」(現代バラ)と呼びますが、とくに初期のものは「アーリー・モダン・ローズ」と言われ、魅力が見直されています。靉靉園はこの時代のバラを堪能できる靉靉園として、本などで紹介されています。

7 ソレイユ・ドール(ハイブリッド・フォエティダ系)
オレンジを帯びた黄色で、さわやかな香りのする花が、枝いっぱいになわに咲きます。現代黄バラの第1号となった品種で、「黄金の太陽」という意味の名前が付けられています。靉靉園のなかでも比較的早く咲き始めますので、お見逃しなく!

8 オールド・ブラッシュ(チャイナ系)
やわらかなピンクに濃いピンクのぼかしが入る八重咲きが特徴。18世紀後半に中国からヨーロッパへもたらされた4種のバラのひとつで、強い四季咲き性をもっています。それまでのヨーロッパのバラのほとんどは春しか咲かない一季咲きでしたから、1年に何度も咲く様子を見て、西洋の人々はさぞかし驚いたのでは!?

1 チャールズ・レニー・マッキントッシュ(シュラブ系)
深いカップ咲きで、うなだれ気味に咲く姿が愛らしい品種です。オールドローズのような花の形と、現代バラの四季咲き性や多彩な色とを兼ね備えた、イングリッシュローズの仲間です。

2 ローズ・オオサカ(ハイブリッド・ティ系)
多くの人がバラと聞いて思い浮かべる色や形をもつ品種で、すくっと立ち、大きな花を咲かせます。「世界バラ会議大阪大会2006」のシンボルローズで、名前は公募により選ばれました。兵庫県伊丹市の育種家である寺西菊雄さんが作出され、当初は奥様の名前から「マイ・レイコ」と名付けられていたそうです。

3 クリムソン・グローリー(ハイブリッド・ティ系)
1935年にドイツで作出されました。赤色のバラの交配親としてたくさんの品種をうみだした名花で、香りもすばらしいです。第二次世界大戦中にドイツの敵国となり交易がなかったイギリスでも、このバラだけはひそかに輸入が続けられたとの逸話があります。

4 ブルー・ムーン(ハイブリッド・ティ系)
青味がかった薄紫で、ブルー香といわれる香りを持ち、優しい印象の花です。ブルームーンとは、一ヶ月に二回目の満月を迎えることを指し、「めったにない」という意味がありますが、見ると幸せになれるとも言われています。近年、遺伝子操作によって誕生した青いバラが話題ですが、こちらは交配によって作り出されました。